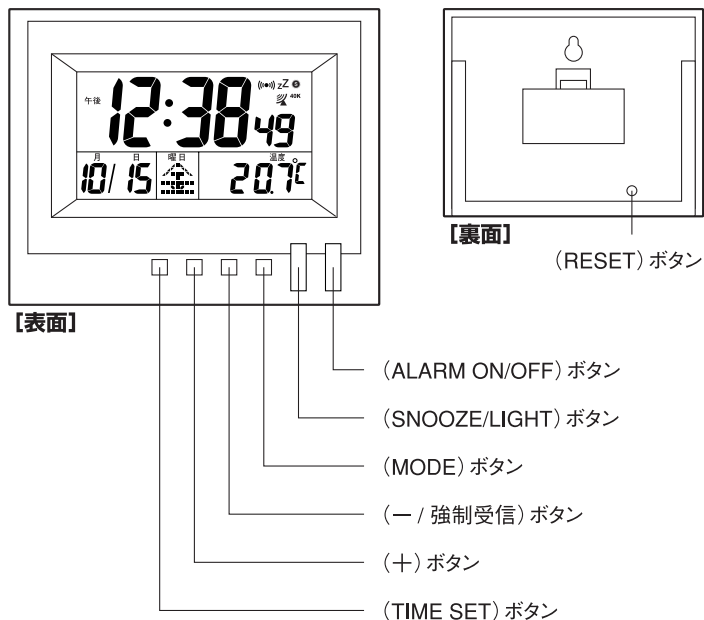


●商品の特長

- この時計は正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準時刻電波を受信すると自動的に現時刻を表示する電波時計です。
- 電波の受信できない場所では、クォーツ時計として作動し、その誤差は月差±30秒です。
- 40kHz/60kHzいずれか受信状況の良い周波数の電波を選択して受信します。自動受信機能により、1日3回(午前2時・3時・4時)、自動時刻修正を行います。
- 温度計・カレンダー・サマータイム表示機能付きです。

●各部の名称



●ご使用方法とご注意

■時計を合わせる

1.電池を入れます。

- ①裏面の電池カバーを外して下さい。
- ②電池ホルダーの(+) (-) 方向を間違えないように電池を完全にはめ込んでください。絶縁フィルムが付いている場合は、取り出してください。

注意

- (+) (-) を逆に入れますと時計は動きません。又、故障の原因になります。
- 付属の電池はモニター用電池のため、記載の電池寿命に満たない場合があります。(モニター用電池は時計機能や性能を確認するための電池で、時計本体価格には含まれていません。)

- ③電池をセット後、ボールペンなどの先のとがったもので裏面の(RESET) ボタンを押すと初期受信を開始します。受信マークが点滅し、受信を開始します。(この時の設定は2004年1月1日木曜日午前12時 アラーム時刻は午前7時)



電波を受信中、受信マークは、受信状況に応じてその表示が変化します。

- ④受信に成功すると受信マークが点滅から点灯に変わり、同時に現在日時が表示されます。

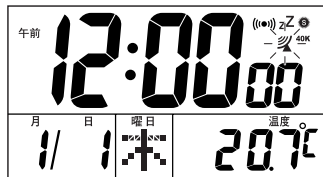
※最も受信しやすい方向は、表示部または裏面が電波送信所に向くように置いたときです。

※受信中に本機を動かしていると受信能力は低下します。

※受信が完了すると受信した時刻の“時・分・秒” “月・日・曜日”が表示されます。

※電池をセットしてから受信完了までは4分から14分程度かかりますが、地域、環境条件によって異なります。初めて電池をセットし、電波を受信しなかった場合でも、夜間は昼間と比べて電波受信状況が良くなるため、電波を受信しやすくなりますので、一昼夜そのまま様子を見て下さい。

※万一、正常に受信をしない場合は、窓際など電波を受信しやすい場所に置いてもう一度受信させるか、後記「■手動で任意の時刻を設定する」で時刻設定をしてください。



●受信しづらい、まれに誤った時刻を表示するなどがあったときは。

ご使用していて、受信がしづらい、誤った時刻を表示するなどを感じましたら、窓のそばに設置する、送信所に対する商品の方向を合わせる、金属製品から離すなど、置き場所を変えてご使用いただくと、それらの症状が改善されます。電波時計は、微弱な電波を受信して時刻を修正しています。この微弱な電波を受信するアンテナは、送信所に対しての向きが合っていない場合、すぐ近くに金属製品がある場合、取扱説明書に記載のノイズの発生源が近くにある場合や、地下室、ビルの中など電波のとどきにくい所では、その性能を充分に発揮できません。

■アラームをセットする、解除する

1.アラーム時刻を設定します。

- ①(MODE) ボタンを押し“アラーム時刻”を表示させて下さい。
- ②(MODE) ボタンを2秒間押し続けると、アラーム時刻の“時”が点滅表示されます。(+)・(-) ボタンを押して、“時”をセットして下さい。
- ③再び(MODE) ボタンを押すと、アラーム時刻の“分”が点滅表示されます。(+)・(-) ボタンを押して、“分”をセットして下さい。
- ④“時刻”のセットが終わりましたら、もう一度(MODE) ボタンを押した後、(ALARM ON/OFF) ボタン、または(+) ボタンを押してアラームマークを表示させてください。これで設定時刻にアラームが鳴りだします。
※(+)・(-) ボタンは2秒以上押し続けると表示が早送りされます。
※アラーム設定中、30秒以上なにもしていないと、元のアラーム時刻が再び表示されます。

2.アラームモードの設定、止め方

この時計には2つのアラームモードがあります。

アラームモードは(ALARM ON/OFF) ボタンを押すごとに切り替わります。

●液晶にアラームマークが表示しているとき。「通常アラーム」

アラームが鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、アラームが停止し、翌日の同時刻に再びアラームが鳴ります。

●液晶にアラームマークとzZマークが表示しているとき。「スヌーズ機能」

アラームが鳴っている間に(SNOOZE/LIGHT) ボタンを押すと、アラームが一旦停止し、約5分後に再びアラームが鳴ります。それ意外のボタンを押すと、アラームが停止し、翌日の同時刻に再びアラームが鳴ります。

※アラームが鳴り始めてから1分間上記ボタンを押さないとアラームは自動的に止まります。その場合でも翌日の同時刻にアラームは再度鳴りだします。

アラームを完全に止めたい場合は、(ALARM ON/OFF) ボタンを押して、アラームマーク、zZマーク消します。

■自動受信以外で受信をさせる

任意に受信動作をさせる機能です。

- ①(-) ボタンを2秒以上押すと「強制受信」になり、受信マークが点滅し、受信動作を開始します。

※もう一度(-) ボタンを押すと受信動作は止まります。

※強制受信中は時刻設定やアラーム時刻設定などは出来ません。他の動作をする場合は(-) ボタンを押して強制受信を一旦止めて下さい。

※このモードで受信動作をさせたときには、内部で受信動作前の時刻がクォーツ精度で動作していますので、最長約14分受信ができない場合でも自動的に以前の時刻を表示して受信動作を完了します。

※使用場所の受信環境をチェックしたいときに、このモードをお使いになると便利です。

- ②受信環境が良好であれば約4分で受信を完了します。

■手動で任意の時刻を設定する

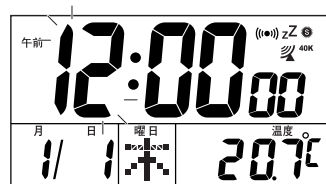
海外などJJY電波送信圏外で、普通のクォーツ時計として使用したいときは、手動で時刻をセットすることができます。また、受信環境の良くない場所で、受信動作をさせても受信ができないとき(アンテナマークが点灯しないとき)も手動で時刻をセットすることができます。

- ①(TIME SET) ボタンを2秒以上押し続けると、時刻表示の“時”が点滅表示されます。(+)・(-) ボタンを押して、“時”をセットして下さい。

- ②再び(TIME SET) ボタンを押すと、時刻表示の“分”が点滅表示されます。(+)・(-) ボタンを押して、“分”をセットして下さい。

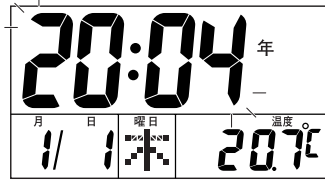
- ③再び(TIME SET) ボタンを押すと、時刻表示の“秒”が点滅表示されます。(+)・(-) ボタンのいずれかを押し0秒になります。

※手動時刻セット中も“秒”は常に進んでいます。



※時報等に合せて(+)・(-)ボタンを押す事で、秒単位で時刻を合せることができます。

- ④再び(TIME SET)ボタンを押すと上段に、“年”が点滅表示されます。(+)・(-)ボタンを押して、“年”をセットして下さい。



- ⑤再び(TIME SET)ボタンを押すと、カレンダー表示の“月”が点滅表示されます。(+)・(-)ボタンを押して、“月”をセットして下さい。

- ⑥再び(TIME SET)ボタンを押すと、カレンダー表示の“日”が点滅表示されます。(+)・(-)ボタンを押して、“日”をセットして下さい。

- ⑦再び(TIME SET)ボタンを押すと、「通常表示」に戻り時刻セットが完了します。

※手動時刻セット中、約30秒もしないでいると、元の時刻表示に戻ります。
※手動で時刻をセットした場合、次に時刻情報電波の受信を成功するまでは液晶上に電波マークは表示されません。

■バックライトを点灯させる

(スヌーズ・ライト)ボタンを押すと、約3秒間パネルのライトが点灯します。

■12/24時間表示を切替える

温度表示の状態、(+)ボタンを押すと、押すたびに12時間表示と24時間表示を切替えることができます。

■温度表示を切替える

温度表示の状態、(-)ボタンを押すと、押すたびに“摂氏”と“華氏”の表示を切替えることができます。

■サマータイム表示

時刻電波情報にサマータイム情報が含まれる場合は、マークが液晶上に表示されます。

※海外などJJY電波送信圏外で、手動でサマータイムを設定したい場合は、液晶上に温度が表示されている状態で、(+)ボタンを約2秒押し続けるとサマータイムに設定できます。(マークが液晶上に表示され、1時間進んだ時刻が表示されます。)

サマータイムを解除したい場合は、液晶上に温度が表示されている状態で、(-)ボタンを約2秒押しと解除できます。(マークが液晶上から消え、時刻表示が元に戻ります。)